



「18歳を市民に」  
**高生研**  
**第53回**  
**全国大会**  
**2015夏 in 大阪**

会期 **8月8日(土)**  
 ~ **10日(月)**  
 会場 **大阪商業大学**

大会テーマ

**生きづらさをかかえる**  
**生徒から学校を見直す**

日程

日程	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7日 金						現地によるプレ企画				みんなで前夜祭		
8日 土	直前準備		全国 フォー ラム	受 付	開 会 行 事	全体会 13:00~17:00 (13:30~基調討論)				移動・夕食・交流会 17:30~21:00		
9日 日	受 付	一般分科会 9:00~12:30		昼 食 12:30~ 13:50	一般分科会 13:50~17:20			大交流会 17:40~20:00				
10日 月	受 付	問題別分科会 9:00~12:00		昼 食 12:00 ~ 12:40	高生研総会 12:40 ~14:10		別 れ の 集 い	片付け ← 14:10~14:40				

**全体会 8月8日(土) 13:30~17:00**

基調発題・討論 **生きづらさをかかえる生徒から学校を見直すー「特別支援」から始める学級・学校づくりー**

基調発題 早川 恵子・池上 聡一(鳥取) コメント 岡野 八代(同志社大学大学院)

18才を市民にする学校とは、どのような学校なのか。発達障害を抱える生徒が排除されず、他の生徒たちも居心地のよい学校をつくることは、生徒の困っていることを注視することから始まった。その手立てを考えあうとき、生徒と教師の関係、保護者たちの関係が変わっていく。

主催：全国高校生活指導研究協議会  
 後援：大阪府教育委員会

# 一般分科会 8月9日(日)

A午前 9:00~12:30

B午後 13:50~17:20

## A+B<午前午後通し>

### 1. 生徒会「生徒会活動と地域イベントの融合」

吉田 真一(熊本)

地域に根差した教育活動を実践していると、本市に「コミュニティカレッジ」を創設し、本校を「コミュニティスクール化」することが目標となった。地域の方々を本校教育活動に取り込み、これまでの取り組みをいかに繋げるかを模索する。

### 2. HR「スクールカースト」を乗り越える HR 指導

佐藤 育実(東京)

様々な引力が働くクラス。そこには明らかなグループごとのすみ分け、そしてカーストが。ただその序列が単純ではない。中心となるグループの中にも序列、引力が働いている。そんな集団は、どうしたら個々に解放されうるのか。文化祭を通しての実践報告から、集団力学を考えたい。

## A<午前のみ>

### 3. 授業「パートナーとの対等な関係を考える」

小柴 架奈子(茨城)

嫉妬、束縛がなければ恋愛ではない!? デートDVの授業での失敗を元に、試行錯誤した1年生家庭基礎の授業実践。相手も自分も尊重しながら、なおかつ恋愛のドキドキも楽しみたい。高校生が考える「対等な関係」を共に探った2時間。はたして、生徒たちのリアルな言葉は授業の中で出されたのか?

### 4. HR「今日もノー天気!生徒と私のHRづくり」

佐藤 理河(北海道)

「授業のために行事をけずれ」と言われてもやっぱりHRレクはしたい。「成果を早く出せ、失敗はゆるされない」と言われても、生徒が動き出すのをあせらずに待ちたい。「みんなでもっと楽しいことやりたい!」と子どもたちが叫ぶ、「ノー天気」なHRづくり実践。

### 5. 特別支援「特別支援学校での初担任実践~A君と1組の指導」

鈴木 誠一(大阪)

伝えたいことを上手く伝えられないA君のもどかしさに気づいたのは、学級崩壊の寸前だった。若者ばかりの担任団は、なんとか危機を乗り越えた。1組は“仲の良いクラス”に生まれ変わった。そこに1人だけ、私たちが見落としていた生徒がいた。

## B<午後のみ>

### 6. 授業「『原発神話』を考える国語の授業」

九野里 信夫(京都)

原子力や原子力発電に関わる、教科書の論説文、新聞記事、労働者の手記、インタビュー記事等を読み合う国語の授業づくり。高校2年生の生徒達が、論説文、新聞記事、手記、インタビュー記事を読み合う中で、他者の意見や分析に出会い、科学的な事象について考え、意見文や論説文を書いて行った取り組み。

### 7. HR「定時制のHR担任・生徒会顧問としての3年間」

細川 千明(大阪)

初任の夜間定時制で、生徒の自尊心を取り戻そうとがむしゃらに取り組んだ生徒会の映画作りに遠足、フィリピン離島修学旅行。そのなかで突きつけられた生徒たちの生きづらさに経験の浅い教師はどう向き合い、どう対応することが求められていたのか。振り返り、考えたい。

### 8. 地域と学校「生徒は地域と人間関係の中で育つ」

森田 和行(滋賀)

学科・系列の活動、また生徒会活動や部活動など様々な活動を通して、地域で生徒が活躍できる場所を作り、その中で成長する生徒の姿。地域で小学生に教える経験や、大人に褒めてもらう経験から、授業以上に生きる力を育み、高校生を市民へと育てようという取り組み。

## 問題別分科会 8月10日(月) 9:00~12:00

### 1. 大阪の若手起業家たちと考える、「学校」「教育」

武田 緑 (一般社団法人コアプラス代表) 川口 加奈 (NPO法人home door 代表)

18歳選挙権が話題にのぼるなか、若者たちの社会関心の乏しさが喧伝される昨今。しかし一方で、旺盛、大胆に社会参加を行う若者たちも多数存在する。福祉や教育の分野で活躍される20代お2人の活動から、主権者を育てるため、「学校」や「教育」に何ができるのかを考察する。

### 2. 語れない語りが語られる時——福島災害から

子安 潤 (愛知教育大学)

福島災害の体験は、そのダメージの大きさから語れない状況をつくっただけではない。福島災害を忘却させようとするマクロな力が働き、ミクロな語りさえ小声にさせている。語り出した教師と子どもたちの軌跡に学びたいと思う。

### 3. 生活指導の実践史に学ぶ

池上 聡一 (鳥取) 村田 純一 (大阪)

貧困による生活苦や障害による社会的不利など、様々な「生きづらさ」を抱えた少数者にこだわりながら生活指導の実践史を振り返る。色々な背景・特徴を持った個人を権利主体としていく教育を探っていくうえで、生活指導の歴史と実践は多くの示唆をもたらすはずである。

### 4. 退職後もサークルづくり

船橋 聖一 (高生研会員、新潟県の棚田農家弟子)

退職後に十日町市の里山に入り、高校生とともにさまざまな世代が交流する和太鼓サークルをつくり、豪雪地帯の冬季限定で地域のおばちゃんたち5人と味噌を仕込んだ。それは仕事というより私の心の安定をもたらす場だと気づいた。これは現役時代の教師としての営みの延長上にある。退職者と現役が一緒になって「サークルって何・なぜ・どのように」を交流する分科会。

### 5. 「なめられる教師」が新しい教育の地平をひらく

田中 幸恵 (静岡)

「強い指導」が大手を振る学校現場。「生徒になめられるな」という内と外からの声に身をすくませる教師。しかし、人間としての対等性の認識のもと、生徒の声を聞き取り生徒の生活現実から指導の糸口を探ろうとする「なめられる教師」こそが、息苦しい教育を変えていく希望ではないか。

### 6. 担任が育つ学年～教育づくりで学校を変えたい

藤田 隆介 (大阪)

私学が先鞭をつけ、全国の高校に吹き荒れた苛烈な競争主義とゼロトレランス。「改革」に名を借りたこの流れに一石を投ずるべく、「教育実践で学校を変えよう」と思い定め、若い仲間とつながり、クラスづくりを基礎にした学年教師集団づくりに挑んだささやかな取り組みを共同でレポート。

## 交流会

8月 8日(土) 17:30~21:00 (開始終了時間は企画によって異なります)(当日案内)

1. 基調を深める
2. 若者&若手教師交流会
3. 上方落語(桂文珍独演会)を聞こう
4. 今どき通信交流会

## 大交流会

8月 9日(日) 17:40~20:00

心地よい疲れを癒やす大交流会。串カツはもちろんたこ焼き・かすうどんなど大阪グルメでおもてなし。「交流」「学び」「笑い」色んな具材に、「志」という串を刺し、あなたの身体に吸収される。そんな串カツのような大交流会で有意義な時間をお過ごし下さい。学びすぎて、胃もたれ注意!

## 8月7日(金)プレ企画の案内「串カツのような学びを、熱く！暑い大阪で!!」

大阪高生研が取り組んできた多様な学びを皆さんとシェアし、深めていきます。18歳を市民にする授業とは。授業に生かせるスキルアップ講座など多様な講座を用意して全国の皆様をお待ちしています。どうぞ大阪へ!!

<参加費は別途徴収、詳細は「応援ブログ」にて掲載>

## 参加案内

参加費 全日程参加 5,000 円、2日参加 4,000 円、1日参加 2,000 円

学生 1,000 円 (ただし大会実行委員として参加した場合は無料)

申込方法 別紙「大会参加申込書」にてお願いします。Eメールでの申し込みをお願いします。

Eメールアドレス：kouseiken2015Osaka@yahoo.co.jp

(申込書は「応援ブログ」からダウンロード可能。申込メールが送信できるフォームもあります。)

※当日申し込みもできますが、出来る限り事前に申し込んでください。

保育 実施する予定です。保育を希望する方は、7月20日までに参加申込にその旨を記入して下さい。

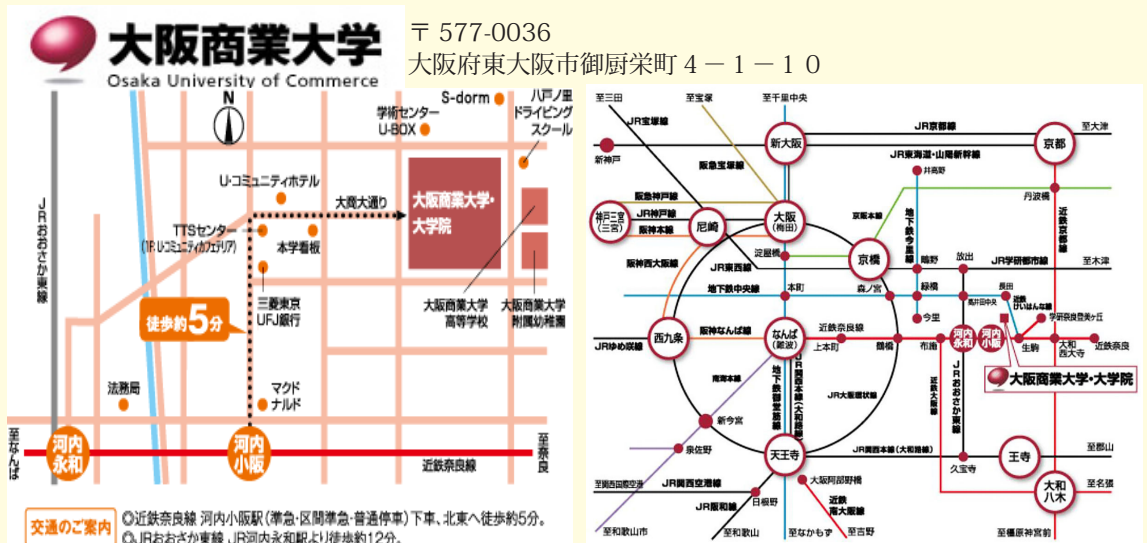
宿泊 参加者個人で宿泊施設を当たって予約して下さい。

※高校総体の開催時期と重なります。お早めにご予約ください。

Uコミュニティホテル(東大阪市御厨柴町1丁目3-30 Tel06-6784-3000)

電話にて「高生研大会参加」で申し込み可能。先着にて限りがあります。

## <高生研大会会場周辺アクセス>



### <高生研の案内・問い合わせはこちら>

- 高生研ホームページ <http://kouseiken.jp>
- 2015年高生研大阪大会 Facebook <https://www.facebook.com/2015kouseikenosakataikai>
- 高生研の紹介・大会案内を掲載大阪大会応援ブログ <http://kouseiken.jp/Taikai/>  
「-串カツのような学びを皆の手で-高生研2015大阪大会応援ブログ-」



問い合わせ先

大会実行委員長 久田晴生(大同大学) e-mail: [hello.hisada@nifty.com](mailto:hello.hisada@nifty.com)

〒455-0075 名古屋市港区正徳町4-62